

# 北薩感染症情報

## 2026年第6週(2月2日~2月8日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール [kita-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp)

### 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中

○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	-	333	266	88.67	↓	-	176	175	87.50	↓	-
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	-	408	524	174.67	↗	◎	83	120	60.00	↗	◎
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	-	2	1	0.33	↓	-	1	-	-	↓	-
小児科定点	RS	-	-	-	-	4	2	1.00	↓	-	2	-	-	↓	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	-	2	2	1.00	→	○	-	-	-	→	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	-	3	5	2.50	↗	-	2	3	3.00	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	-	19	24	12.00	↗	-	8	2	2.00	↓	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-	-	-	1	0.50	↗	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	7	3	1.50	↓	◎	-	5	5.00	↗	◎
	突発性発疹	-	-	-	-	2	-	-	↓	-	1	-	-	↓	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	-	7	2	2.00	↓	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からのインフルエンザ入院報告		-	-	-	-	-	-	/	-	-	1	/	↗	-	
指定医療機関からのCOVID-19入院報告		-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	→	-	
報告数合計		-	-	-	-	787	830	/	↗	/	273	306	/	↗	/

<注意報・警報レベル>

- 川薩保健所管内 インフルエンザ, 咽頭結膜熱, 伝染性紅斑(警報レベル)
- 出水保健所管内 インフルエンザ, 伝染性紅斑(警報レベル)

<全数報告>

- 川薩保健所管内 結核1件, 腸管出血性大腸菌感染症1件
- 出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- 川薩保健所管内 学年閉鎖: 薩摩川内市2件 さつま町1件, 学級閉鎖: 薩摩川内市6件 さつま町2件
- 出水保健所管内 学年閉鎖: 阿久根市1件, 学級閉鎖: 阿久根市1件

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

警報発令中 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				49W	50W	51W	52W	1W	2W	3W	4W	5W	6W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	122.33	155.33	105.00	102.33	29.33	63.00	82.00	98.33	111.00	88.67
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	120.00	173.33	101.33	63.33	15.33	34.67	25.00	61.33	136.00	174.67
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	1.00	1.00	—	—	0.33	—	0.33	0.67	0.67	0.33
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.50	1.50	2.50	4.50	0.50	1.00	11.00	4.00	2.00	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.00	0.50	0.50	0.50	—	3.00	1.00	2.50	1.00	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	3.00	0.50	1.50	3.00	—	1.00	3.50	1.50	1.50	2.50
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.00	4.50	1.00	4.50	—	6.50	6.50	7.00	9.50	12.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	1.50	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	8.00	5.50	1.50	3.00	1.00	1.50	1.00	2.00	3.50	1.50
	突発性発疹	—	—	0.50	—	—	—	—	0.50	0.50	0.50	1.00	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	2.00	3.00	9.00	3.00	—	3.00	8.00	4.00	7.00	2.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				49W	50W	51W	52W	1W	2W	3W	4W	5W	6W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	85.00	84.00	118.00	68.00	33.50	60.50	54.50	88.00	88.00	87.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	35.50	53.00	77.50	37.00	20.00	29.00	17.50	40.50	41.50	60.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	—	1.50	1.00	0.50	0.50	—	—	0.50	—
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	3.00	4.00	4.00	1.00	1.00	—	2.00	2.00	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	3.00	—	—	—	—	—	—	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	5.00	10.00	2.00	7.00	1.00	8.00	2.00	4.00	2.00	3.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	1.00	—	—	—	2.00	7.00	7.00	10.00	8.00	2.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	5.00	3.00	5.00	3.00	1.00	9.00	3.00	3.00	—	5.00
	突発性発疹	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	1.00	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第6週は、川薩保健所、出水保健所管内でインフルエンザ、伝染性紅斑の警報レベルが継続中です。また、川薩保健所管内では、咽頭結膜熱の警報も発令中です。

インフルエンザの報告が再び急激に増加しています。学級閉鎖等も多く見られます。基本的な感染対策を行い、感染を拡げないように注意しましょう。

川薩保健所及び出水保健所管内で  
インフルエンザの流行発生警報が継続して  
発令されています。

## インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢者の方や免疫力の低下している方では細菌による肺炎を伴う等、重症になることがあります。

## 予防について

①流行前のワクチン接種

②外出後の手洗い等

→流水・石鹸による物理的除去  
アルコール製剤による手指衛生

③適度な湿度の保持

→空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。適切な湿度(50%~60%)を保つことも効果的です。

④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑤人混みや繁華街への外出を控える

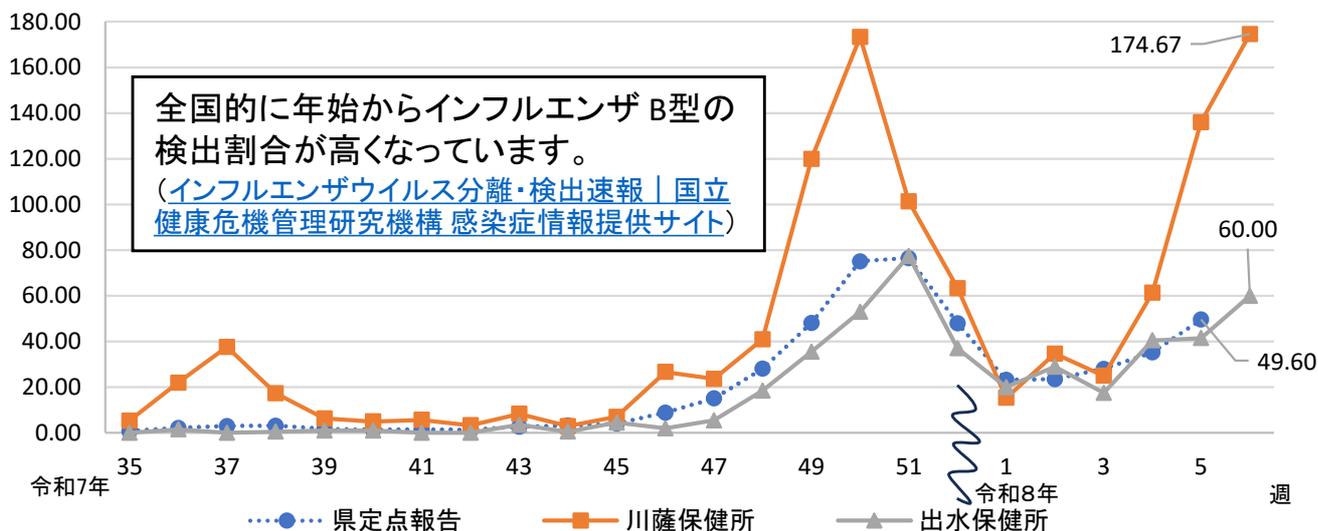
⑥室内ではこまめに換気をする

→対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的です。



定点あたり報告数(人/定点)

参考:感染症発生動向調査システム(35週~R8.6週)



# 感染症の予防対策について (飛沫感染)

## 感染経路別予防策について

標準予防策以上の予防策が必要となる病原体に感染している患者、あるいはその感染の疑いのある患者が対象で主に3種類あります。

①空気感染予防策 ②飛沫感染予防策 ③接触感染予防策  
※感染経路別予防策は、標準予防策に加えて実施します。

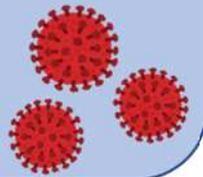
## 飛沫感染とは...?

※次週以降、③接触感染予防策について掲載します。  
※標準予防策、空気感染予防策については4週と5週に掲載しています。

感染している患者が咳やくしゃみ、会話などで放出した微生物を含む5 $\mu$ mより大きい飛沫が、感受性のある人の口腔粘膜、鼻粘膜、結膜等の粘膜に付着することによって感染することです。

### 飛沫感染する感染症

→百日咳、マイコプラズマ肺炎、インフルエンザ、  
風疹、流行性耳下腺炎、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)など



## 飛沫感染予防策の内容について

### ～個人防護具に関して～

・医療従事者や面会者が飛沫予防策の必要な患者さんの部屋に入室する場合は、サージカルマスクを着用する。



### ～病室に関して～

- ・個室への収容が望ましい。
- ・同一感染症患者は、集団隔離も可能。
- ・患者の移動や移送が必要な場合は、サージカルマスクを着用させる。

<個室および集団隔離が難しい場合>

→ベッド間距離を1m以上に保つことが望ましい。  
カーテンなどによる障壁を設ける。

